

- Holo ecchi live 

成年
コミック

結
さく
な

せい
かん
性感
ポルチオマッサージ

おまんこ馬鹿になっちゃう

羞恥マッサー





NEKO-MAID

ULTRA SUPER
NAN DEMO PERFECT

あらすじ

さくたん

- 猫メイド・VTuber -

友人から

紹介されたエヌデサロンで

レビュー動画を撮影するさくたん。

気持ちいいマッサージに**特別コース**を堪能する!?



「皆さんどうもこんにちは！今日は

近くのエステサロンに来てます！」

キッキッ

「ほら見て今日のたためにこれ買いました！じゃーん自撮り棒！あてーしがいい魅力を紹介していきます！」

結○さくな / メイド・Vtuber

性別：女 | 性格：ドM

他人と関わることが苦手でややコミュ障。しかし最近、メイド養成学校を出て独り立ちした立派な大人のレディだ！

小声

「こちら店内です。撮影許可取ってあるんで、皆
さんにマッサージの様子を見せていきたいと思っ
ますッ！」

※さくたんは人見知りなので人が
居る所では笑顔がぎこちない。

「本日で予約の結○様はいらっしゃいますか
個室へのご案内になりますので受付までどうぞ。」

「あ……呼ばれた……。」

えむえー ゾーん

エステ / MA・ZOOON / 美容・整体

基本料金：最低 30 分 3000 円～ オプションあり

リーズナブルな価格で楽しめる、身近なご褒美時間。

「エステをもっと気軽に、もっと身近に」をコンセプトのエステ
サロン。噂では裏メニューがあるとかないとか……

「結〇様ですね、ご来店ありがとうございます。」

「あ……はい……。よろしくおねがいします……」

「それでは結〇様、こちらで用意

した服に着替えて頂けませんか？」

「あ……すべ……は……」

黒咲 / 店員

性別：女 | 性格：Sっ気が強いお姉さんタイプ
このエステサロンで働いている店員の一人。ここに来る
女の子に“接客”するのを楽しみにしている。

(おてい、こういう本格的なエステのお
店初めてだから、ちょっと緊張するかも)

「それでは基本のコースを始めさせて頂きますわ〜」

「お…お願いしますッ」

あーっ

んん



「お、足ぞや…気持ちいい…」

「すごい硬いですわね、さでは、だいたい運動やばってましたわ？」

「んん」

「グ
グ
グ」

「へ…へへ…実は家でゲームにハマ

っちゃった。新しいモンハ○のやい…」

「今話題みたいじゃあな？」

Machine/ ミストアロマ

様々なフレグランスが入れられる超音波式



むわ♡
♡あ♡

「じゃあ次太ももさやっていきますわ〜」

（お尻も揉まれて、
水着みたいなの、

色々見えちゃってないかな…）
これ結構恥ずかしい…■」の

「どこか凝ってる所とかあったら言っ下さなっか〜」

「だいでぶっ……です……」

んんん

いっいっいっ

チラッ

「この調子じゃぶっ……にちかちか〜」

数十分後

「あ…後ろ終わったみたい。みんなく見えろ？カメラ
固定して貰いました。前はこんな感じで。す。」

フリフリ

あーっ

「えへ…結構際どいかも…エヌデだから…
あ、あんまりエッチな目で見ちゃだめだから。」



「それでは、
当店自慢の体外式ポルチオマッサージ
に移ります…足を軽く広げて楽にして下さいね」

「あ…はい…」

（ん？ポルチオってなんだろ…マ
ッサージ用語全然わかんないや）

※さえちゃんミストお願いね」

「はい」

※さえちゃん…エステサロンで働く従業員の後輩

※相葉入りミスト

クわん

(あ……おながのマッサージが
あんなに……くさべったいかも)

「当店ではお客様のために特別なミストを
用意しているので香りもお楽しみ下さい。」

「ずいぶん甘い……いい香り……です」

すりっ……

すりっ……



「ぞちでま、

みんな配信前にたくさん

リフレッシュしちゃいたいと思いますっ!」

「じゃあ合点さっへん、揺らしてねえな〜」

「お…お願いしますっ!」

「んっ……なんか体の奥揺れて不思議な感じ！でもおなか揺れるの恥ずかしい……ふっ……太ってないからねっ！」

とん
とん
…

「はい力抜いて〜そう
です。そのままですよ〜」

ポルチオマッサージって？
ポルチオマッサージは、子宮口（プロ
ポット）マッサージだよ！体外式の
場合、その周辺を揺らして刺激
したり、おなかの上から指で小突
いたりして気持ちよくするよ！



「いい脱力ですわ〜この調子でお願いしますわ〜」

「は……はい……ん……」

グシクニ

ぐに♡

ぐに♡

(すじいなぁ……お腹周りほぐれる感じする。)



数十分後

ポルチオマッサージというのが続き、お腹を押される度、次第に小さく変な声が漏れるようになってきました。

そしてなぜか、ミストの香りを吸い込む度に体が熱くなってしまうようです。



……あていし気持ちよくなってきたんですけど……

あゝあゝ

じ
わ
あ♡

「あ……あ……お腹の下……あ……あ……」

「気分良くなってきましたか？効いてる証拠ですね。」

「ミストも追加しますわ〜」

「ちょっと手、ゆ…ゆっくりお願いします」

ぐりぐり♡

（効いてるの？…この振持ちでいいの？）
ア…ア…時の快感なんですけど…）

「はっ…はっ…へっ…へっ…」

「てか、何このミスト…吸う度、お…

おまんこキュンキュンしちゃうんだけどっ!」

「力加減どうですか」

とん
とん
…

ざわん、♡



「キ…止めて…お…お…だめっホントにー」

「カ抜いてくださーい結○様、リラックスですよー」

（チンポあると勘違いした子宮が降りて来た……んんんこれでお・し・ま・い）

（カめいたら……お……♡ガメだ……）

イへっ♡お♡い♡こ♡今♡（……）

「なんか来ちゃっ♡り♡ぐり♡だめえ♡」





ぐりぐり

きゅん

ぐりぐり

きゅん

ぐりぐり

きゅん

ぐりぐり

(何これ♡おまんこにダイレクトに響く♡子
宮キュンキュンしちゃうっ♡いったのあてし!?)



ぐりぐり

きゅん

「16...」



「あれ？結〇様、

もしかしておイキになったんですか？」

「あ……あら……なんで……ごめんなさいー」

IP

アフメ

「まさか絶頂されるなんて、思わなかったもので…」

「あ…ほんと…ごめんなさい…おでいし…帰ります…」

ううう



「いえ、気持ちよくなったのなら仕方ありません。でも、そう言

うお店じゃないので…次から気をつけて頂ければ大丈夫ですよ」

「は…はい…」

「リラックスできるようにアロマ強くしてありますよ」

数十分後

それから何度もイっちゃって、
恥ずかしさで顔真っ赤になっています。あて
いしがイってばっかのせいか…店員さんもちょっと呆れ気味？がもです…

